

EVOLUTION

私たちの「進化」は止まらない



BSサミット事業協同組合 組織案内



最高品質の車体修理サービスを提供!
常に進化し続ける革新的なボディショップ全国ネットワーク

多くのお客様の安心・安全な交通社会の実現のために
“次世代自動車時代”で勝ち残れる精鋭だけが集結する組織へ!

理事長あいさつ

環境負荷の低減や交通参加者への安全性の向上を目指して自動車の進化が続いていく中で、自動車車体整備業界も変革を余儀なくされています。

保険事故ビジネスの中で実践的な取り組みを展開していく組織として誕生したBSサミットも、自動車を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中で進化し続けています。

業界に先駆けた第三者検査機関による世界基準の工場認定制度の策定をはじめ、全組合員を対象にした超高張力鋼板に対応した溶接設備の検査など、自動車ユーザーに安心と安全をお届けするために、たゆまぬ努力を続けています。

自動車整備における分解整備を行うことができる認証工場の取得など、組織の入会基準を業界で最も高く設定しているのは、自動車ユーザーはもちろん損害保険会社の方々やロードサービスアシスタンス会社の方々などに業界で最も高い修理品質で、安心と安全を提供するために他なりません。

諸外国の事例を見ても、自動車を取り巻くビジネス環境は変化し続けていくことになるでしょう。

このような背景の中で高い志を持った皆さんとともに、自動車車体整備業界の新しい価値を創造していきたいと考えています。



BSサミット事業協同組合理事長
株式会社 中央钣金
磯部 君男

BSサミットの取り組み

“次世代自動車時代”で勝ち残り続ける革新的な戦略を展開!

これまでBSサミットは、我が国にDRPを先駆けて導入し20年の実績のもと、お客様への安心・安全なカーライフの実現に寄与してきました。今後はDRPだけを追い求めるのではなく、次世代自動車時代で勝ち残り続けるための革新的な戦略を展開し続けます。

行政機関との意見交換

自動車ユーザーへの安心・安全な車体整備の提供をコンセプトにした「安全な自動車の車体を確保する議員連盟」を設立。日本損害保険協会、国土交通省、金融庁、中小企業庁、公正取引委員会などの関係省庁にもご参画頂き、車体整備業界全体の問題の解決に向けた活動を展開しています。



「次世代自動車プロジェクト」新設や技能研修の実施

高度な技術力を要求される次世代自動車の車体整備技術に対応し、作業に見合った正しい車体整備料金を明確にするために「次世代自動車プロジェクト」を新設。まずは、3車種(トヨタ プリウス50系、ダイハツ ムーヴ、スズキ ワゴンR)における「自動ブレーキ・エーミング調整作業工数」の策定を実施しました。



BSサミット基本宣言

お客様の喜ぶ ベストサービスを実践しよう
 ベストショップの 全国ネットを構築しよう
 時代の先端を行く ボディショップ経営を目指そう

【BSサミット組織理念】

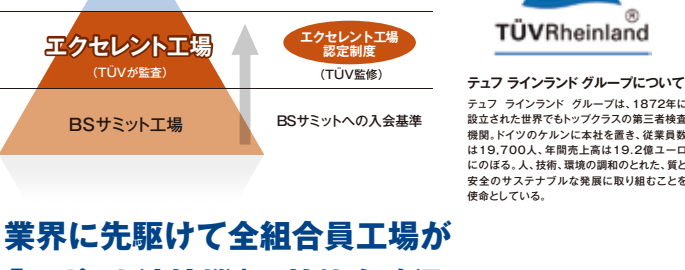
- BSサミットは創造・挑戦し続ける実践集団
- 変わらない「品質」「安心」「安全」
- 変えていく「技術」「環境」「サービス」

【BSサミット活動方針】

- 一、オートアフタービジネスを通して安心・安全な交通社会を実現します
- 一、業界最高水準の技術・接遇を提供します
- 一、コンプライアンスを遵守し、信用・信頼される組織を目指します
- 一、オートアフタービジネス業界の新たな秩序を創造します
- 一、次代を担う経営者を育成します

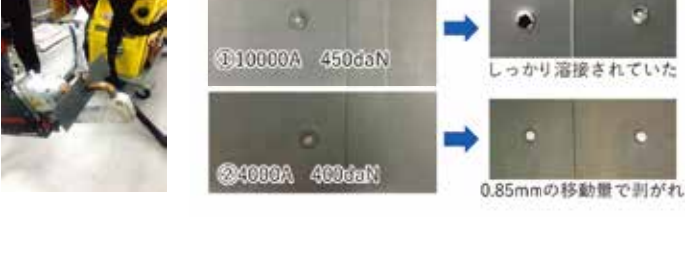
TÜV監修「エクセレント車体整備工場」認定制度

国際的第三者検査機関として定評のあるテュフ ラインランド ジャパン株式会社様(TÜV)監修のもと「エクセレント車体整備工場」認定制度を策定し展開。安心・安全な車体整備を担保する証明のひとつとして、全組合員工場にエクセレント工場資格認定の取得を積極的に推進しています。



業界に先駆けて全組合員工場が「スポット溶接機」の性能を確保

次世代自動車の修理には、超高張力鋼板溶接が欠かせません。BSサミットは自動車メーカーが定める溶接条件の最高水準値(溶接電流値1万アンペア、加圧力値450デカニュートンなど)※基準策定時の値をクリア目標とし、全組合員工場でスポット溶接機の数値計測検査を実施。2018年12月末時点で全組合員工場が目標基準を満たし安心・安全な車体修理を行える体制を整えています。これは国内の車体整備業界に先駆けた画期的な取り組みです。



TÜV「プラチナ」「ゴールド」認証取得の推進

自動ブレーキの普及や段階的な自動運転の投入など、自動車の進化が加速する昨今。BSサミットは、エクセレント車体整備工場認定の次なるステップとして、TÜV「プラチナ」「ゴールド」認証の取得を呼びかけています。



Webを活用した顧客対応力向上や入庫拡大に向けた展開

パソコンやスマートフォンを使用して、自動車ユーザー自らが車体整備事業者を選ぶ時代が到来しています。組合員工場がWebスキルを磨く機会や顧客対応力向上、新たな入庫拡大につなげることを目的として、様々な効果が期待できるWebサービスの活用を提案しています。



沿革

- 1983年(昭和58年) 2月 「RSサミット21研究会」発足
- 1986年(昭和61年) 4月 「ABサミット21研究会」に名称変更
- 1993年(平成5年) 10月 「BSサミット研究会」設立発起人会開催・広島
- 1994年(平成6年) 3月 第1回研究会を開催・静岡
- 1997年(平成9年) 11月 実践集団として「BSサミット」が発足・御殿場
- 2009年(平成21年) 9月 事業協同組合として認可される
- 2010年(平成22年) 10月 「BSサミット事業協同組合」事業開始
- 2013年(平成25年) 7月 「BSサミットニュース」発行
- 2013年(平成25年) 10月 韓国・DRP制度導入への支援に対して韓国・国土交通省から表彰
- 2013年(平成25年) 11月 「次世代オートアフタービジネス研究会」参画
- 2014年(平成26年) 3月 「オートアフターマーケット連絡協議会」発足。磯部理事長が初代会長に就任
- 2015年(平成27年) 9月 自動車リサイクルパーツ一括見積システム「BSダイレクト・オーダー」始動
- 2016年(平成28年) 6月 TÜV監修「エクセレント車体整備工場」認定制度開始
- 2016年(平成28年) 8月 協賛会社様商材PRシステム「BSサミットモール」稼働
- 2016年(平成28年) 12月 「安全な自動車の車体を確保する議員連盟」発足
- 2018年(平成30年) 1月 組織理念、活動方針を時代に合わせ刷新